

## 《研究課題名》

深吸気息止め乳房照射時の心拍動による心臓線量の解析

## 《研究対象者》

2019年1月1日から2023年12月31日までに滋賀医科大学医学部附属病院において心電同期心臓CTを撮像された女性の方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の対象となる方の心臓CTを用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

### (1) 研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2028年12月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 所属 放射線医学講座 氏名 青木 健

### (2) 研究の意義、目的について

《意義》乳癌に対する治療として術後全乳房照射が行われていますが、特に左乳房照射では解剖学的に近い心臓の一部が照射野内となってしまいます。近年、心臓線量が増加するごとに心疾患リスクが増えるとの報告がなされ、心臓の吸収線量の軽減が求められています。深吸気息止め下に乳房と心臓の距離を離して行う放射線治療法が開発され実際の臨床にて適応されていますが、現在において心臓線量に対する心拍の影響についての報告は乏しいままであります。

《目的》線量軽減可能な心臓周期を把握することで更なる心臓線量低減策を図ります。

### (3) 研究の方法について

《研究の内容》2019年1月1日から2023年12月31日までに心電同期心臓CTを撮像された女性を対象とし、その画像データ(拡張期CT及び収縮期CT)及びカルテから身長や体重の身体的データを取得します。各画像データを放射線治療計画システムに取り込み、それぞれの画像データごとに左全乳房照射の照射野を作成します。拡張期、収縮期の放射線治療計画それぞれでの心臓全体や冠動脈の線量などを測定し、拡張期と収縮期の線量変化を検討するとともに身体的データ下でも層別化し検討します。

《利用し、又は提供する情報の項目》心電同期心臓CTの画像データ、身長、体重

## 《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

### (4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

### (5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

### (6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

### (7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

### (8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 所属 放射線医学講座 氏名 青木 健  
住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
メールアドレス：kaoki@belle.shiga-med.ac.jp